

令和4年9月

公益財団法人熊本県移植医療推進財団
の経営状況を説明する書類

熊 本 県

目 次

令和 3 年度事業報告及び令和 3 年度収支決算・・・・・・・・・・ 1

令和 4 年度事業計画及び令和 4 年度収支予算・・・・・・・・・・ 1 6

令和3年度事業報告及び令和3年度収支決算

【令和3年度事業報告】

(事業目的)

移植医療の普及推進と目と臓器に関する保健衛生の知識の啓発を図り、県民の健康増進及び福祉の向上に寄与することを目的に、眼球提供希望者の募集、眼球移植希望者の調査及び相談、角膜及び強膜のあっせん、臓器移植希望者の組織適合性検査費用の助成、移植医療に関する調査及び研究並びに支援に関する事業を行うものとする。

1. 普及啓発事業

移植医療に対する県民の理解と協力が得られるよう、パンフレット等を作成し、医療機関等に配布し、移植医療に関する知識の普及啓発にあたった。

コロナ禍で各団体主催の会等も中止を余儀なくされ、関係団体等における啓発活動にも支障をきたした。

(1) 各種行事での普及啓発

1) オンライン市民公開講座 2021

「熊本県×熊本赤十字病院×いのち～未来へつなぐ～」

日程 令和3年10月10日(日)

場所 オンライン開催(参加申込み約460名)

主催 熊本県、熊本赤十字病院、KKTくまもと県民テレビ

共催 (公社)日本臓器移植ネットワーク、熊本県移植医療推進ネットワーク協議会、熊本県腎移植者の会、(公財)熊本県移植医療推進財団(共催団体として参加)

(2) 感謝状の贈呈

1) 献眼者の葬儀に参列し、儀式の中で御遺族に対し代表理事感謝状の贈呈を行った。

令和3年度 参列8件(献眼数8件)

2) 献眼者を顕彰するため、厚生労働大臣感謝状を申請し、贈呈を行った。

令和3年度 7件(献眼数8件)

3) 熊本県ライオンズクラブ献眼・献腎・献血運動協力会の主催により、献眼者慰霊碑へ献花を行った。

日時 令和3年11月26日(金)

場所 熊本市動植物園

(3) 普及啓発チラシ等の作成

1) 熊本県及びライオンズクラブ献眼・献腎・献血運動協力会、熊本県腎臓病患者連絡協議会、熊本県腎移植者の会と共同で、移植医療の普及啓発のためのパンフレット等を作成した。(コミュニケーションブック『for』vol.22)

2) 『ざいだん NEWS』の発行

令和元年度に財団設立 40 年シンポジウムの開催に合わせ広報誌として発行し、当年度は第 3 号、第 4 号を作成し、賛助会員に送付、及び関係各所に配布した。

(4) 講義・講話・研修の実施

1) 熊本大学薬学部 1 年生 約 100 名

日時 令和 3 年 6 月 10 日 (木) 10:20~11:50

内容 講義 薬学概論 「薬学での学びを活かした移植医療とのかかわり

社会における責任」

新 1 年生を対象とする講義で、特に意思表示の大切さを強調。今後さらに高校等への情報提供が課題。

2) 熊本県移植医療推進ネットワーク協議会移植医療施設部会の開催

熊本県移植医療推進ネットワーク協議会移植医療施設部会を開催し、各医療機関等の連携構築に必要な調整を行った。

(1) 第 1 回熊本県移植医療推進ネットワーク協議会 移植医療施設部会

令和 3 年 12 月 23 日 (木) 18:30~19:45 ホテル熊本テルサ ひばり

(2) 第 2 回熊本県移植医療推進ネットワーク協議会 移植医療施設部会

令和 4 年 3 月 9 日 (水) 18:30~19:30 ホテル熊本テルサ たい樹

3) 臓器移植院内コーディネーター研修会等の開催

県内 38 医療 機関に設置している臓器移植院内コーディネーター向けの研修会を開催し、コーディネーターの養成を行った。

< Web 講演会 >

(1) 令和 4 年 2 月 1 日 (火) 18:00~19:00

厚生労働省 健康局 難病対策課 移植医療対策推進室 室長補佐 吉屋 匠平 氏

「臓器移植医療の現状 ~ 臓器移植法改正 10 年を経ての課題と今後の方向性 ~」

【参加者】37 アクセス (個人・施設)

(2) 令和 4 年 2 月 3 日 (木) 18:00~19:00

済生会熊本病院 医療連携部 社会福祉士 山田 憲彦 氏

熊本赤十字病院 総務課 医療調整係長 松尾 剛典 氏

「臓器提供時の事務担当者の役割について」

【参加者】26 アクセス (個人・施設)

(3) 令和 4 年 2 月 9 日 (水) 18:00~19:00

岡山大学病院 救命救急科 助教 塚原 紘平 氏

「臓器提供 ~ 初療からドナー管理まで ~」

【参加者】18 アクセス (個人・施設)

(4) 令和 4 年 2 月 16 日 (水) 18:00~19:00

東京歯科大学市川総合病院 角膜センター・アイバンク

移植コーディネーター 青木 大 氏・佐々木 千秋 氏

「角膜提供について」

【参加者】28 アクセス (個人・施設)

一部研修会については、熊本県臓器移植コーディネーターが実施する都道府県支援

事業研修会と共催。

4) 臓器移植院内コーディネーター等の研修に係る補助

臓器移植院内コーディネーターや熊本県移植医療推進協議会移植医療施設部会の医師等が学会や研修会等に参加し、コーディネーターの養成を行った。

< 補助対象研修会 >

(1) 第 57 回 移植学会総会

(2) 第 20 回 J A T C O 総合研修会 ドナーコース

< 補助内容 >

5 類型施設から延べ 8 名、参加費の約 320,000 円を補助

5) 先進的な活動等の視察研修

先進的な取り組みや効果的な普及啓発活動等を行っている自治体や医療機関等に熊本県移植医療推進ネットワーク協議会移植医療施設部会員や提供側・移植側の医療関係者等を派遣し、実際の活動を学んだ。

日時：令和 4 年 3 月 14 日（月）～ 令和 4 年 3 月 15 日（火）

視察先：静岡県院内移植コーディネーター連絡会、静岡県臓器提供・移植対策協議会

対象者：臓器移植院内コーディネーター及び移植医療施設部会員

(5) 移植医療ボランティアの育成

熊本赤十字病院、熊本県腎移植者の会と連携し、移植ボランティアを育成し「黄色い羽根募金活動（熊本県腎移植者の会主催）」等を行った。県下約 3,000 ヶ所に資材等を送付した。

2 . 提供者募集管理業務

臓器移植には、健康な臓器提供希望者の登録が不可欠であるため、臓器提供者の募集を行うことを目的に、県民に意思表示カード等への記入を呼びかけた。新型コロナウイルス流行の影響で県内各市町村成人式が中止や延期となる中、市町村の協力により、新成人を対象に普及啓発資材等を配布した。

令和 3 年度 新成人数約 18,600 名

臓器(角膜)提供意思登録については、日本臓器移植ネットワーク、日本アイバンク協会のホームページ上でのオンライン登録によって募集が行われている。

3 . 移植希望者の調査事業

(1) 腎移植希望者登録

熊本県内腎移植希望登録者 191 名（全国 13,738 名） 2021 年 12 月末現在

(2) 角膜移植待機患者数調査（公益財団法人日本アイバンク協会との連携）

毎月、移植施設による移植待機患者の報告を集計し、日本アイバンク協会、九州各県アイバンク連絡協議会へ報告を行った。

令和 4 年 3 月 31 日現在の待機患者数 152 名

4. 摘出あっせん業務

先天的又は後天的な角膜、強膜の疾患により、視力低下又は失明した方を角膜、強膜の移植により視力を回復させることを目的に、安全性の確保された角膜、強膜のあっせんを公平、公正に行った。

献眼件数 8件、あっせん件数 16件（保存眼含む）

5. 組織適合検査の助成事業

腎移植希望者の新規登録のための組織適合検査（HLA 検査）費用が、税込 26,400 円と高額なことから、検査費用の一部補助（1人 9,000 円）を実施した。

令和 3 年度実績 24 件（総額 216,000 円）

6. 移植調査研究事業

移植医療推進に係る会議等へ WEB により参加した。

（1）全国アイバンク連絡協議会（WEB 開催）

日時 令和 4 年 2 月 25 日（金）

（2）全国移植医療支援組織会議への参加（アンケート回答のみ）

7. その他事業

（1）各種会議

下記のとおり理事会及び評議員会を開催し、全て承認された。

1) 定例理事会【文書審議】

令和 3 年 6 月 24 日議事録署名

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告（案）及び収支決算（案）について

第 2 号議案 令和 3 年度評議員の改選及び役員の交代（案）について

第 3 号議案 事務局員（案）について

2) 評議員会【文書審議】

令和 3 年 7 月 16 日議事録署名

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告（案）及び収支決算（案）について

第 2 号議案 令和 3 年度事業計画及び収支予算について

第 3 号議案 令和 3 年度事務局員の追加について

3) 臨時理事会

令和 4 年 2 月 18 日 第 1 回臨時理事会開催 議事録署名 2 月 18 日

第 1 号議案 事務局体制の見直しについて

第 2 号議案 事務局員の配置について

第 3 号議案 事務局員の任意規定及び任用等に関する内規について

令和 4 年 3 月 16 日 第 2 回臨時理事会開催 議事録署名 3 月 30 日

- 第 1 号議案 令和 3 年度補正予算について
- 第 2 号議案 事務局について
- 第 3 号議案 令和 3 年度の決算見込みについて
- 第 4 号議案 令和 4 年度事業計画（案）について
- 第 5 号議案 令和 4 年度収支予算（案）について
- 第 6 号議案 旅行規則、会計規則及び事務処理規定の改正について

4) 臨時理事会【文書審議】

令和 4 年 3 月 16 日議事録署名

- 第 1 号議案 事務局体制の見直しについて
- 第 2 号議案 事務局員の配置について
- 第 3 号議案 事務局員の任用規定及び任用等に関する内規について

(様式 1 - 1)

貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,319,198	13,568,173	△ 2,248,975
未収入金	2,646,692	200,000	2,446,692
流動資産合計	13,965,890	13,768,173	197,717
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金肥後銀行県庁支店	0	0	0
定期預熊本銀行日赤通支店	10,000,000	10,000,000	0
普通預金ゆうちょ銀行	8,331,000	8,331,000	0
有価証券 肥後銀行県庁支店	0	0	0
有価証券 熊本銀行日赤通支店	169,993,000	169,972,000	21,000
有価証券みずほ	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	288,324,000	288,303,000	21,000
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
器具備品	8,484,655	8,257,995	226,660
器具備品減価償却累計額	△ 8,328,184	△ 7,942,226	△ 385,958
その他の固定資産合計	156,471	315,769	△ 159,298
固定資産合計	288,480,471	288,618,769	△ 138,298
資産合計	302,446,361	302,386,942	59,419
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	7,014,322	7,212,907	△ 198,585
流動負債合計	7,014,322	7,212,907	△ 198,585
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	7,014,322	7,212,907	△ 198,585
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基金	288,331,000	288,331,000	0
指定正味財産合計	288,331,000	288,331,000	0
(うち基本財産への充当額)	(288,324,000)	(288,303,000)	(21,000)
2. 一般正味財産			
その他一般正味財産	7,108,039	6,871,035	237,004
一般正味財産	7,108,039	6,871,035	237,004
正味財産合計	295,432,039	295,174,035	258,004
負債及び正味財産合計	302,446,361	302,386,942	59,419

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の有価証券・・・償却原価法

固定資産の減価償却方法について

固定資産の減価償却方法・・・器具備品は定率法によっている

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券 熊本銀行	69,944,000	28,000		69,972,000
有価証券 熊本銀行	100,028,000		7,000	100,021,000
大口定期 熊本銀行	10,000,000			10,000,000
有価証券 みずほ証券	100,000,000			100,000,000
普通預金 ゆうちょ銀行	8,331,000			8,331,000
小 計	288,303,000	28,000	7,000	288,324,000
合 計	288,303,000	28,000	7,000	288,324,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
有価証券 熊本銀行	69,972,000	(69,972,000)	()	()
有価証券 熊本銀行	100,021,000	(100,021,000)	()	()
大口定期 熊本銀行	10,000,000	(10,000,000)	()	()
有価証券 みずほ証券	100,000,000	(100,000,000)	()	()
普通預金 ゆうちょ銀行	8,331,000	(8,331,000)	()	()
小 計	288,324,000	(288,324,000)	()	()
合 計	288,324,000	(288,324,000)	()	()

6. 担保に供している資産

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具備品	6,207,300	6,050,829	156,471
合 計	6,207,300	6,050,829	156,471

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
熊本銀行 第329回利付国庫債券	69,972,000	70,742,000	770,000
熊本銀行 第338回利付国庫債券	100,021,000	101,280,000	1,259,000
みずほ証券 255回住宅金融支援機構債券	100,000,000	98,260,000 [△]	1,740,000
合 計	269,993,000	270,282,000	289,000

(様式2-1)

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,508,175	1,508,325	△ 150
基本財産利息収入	1,508,175	1,508,325	△ 150
特定資産運用益	0	0	0
受取入金	0	0	0
受取会費	902,000	858,200	43,800
賛助会費	902,000	858,200	43,800
事業収益	5,846,692	2,600,000	3,246,692
角膜幹旋手数料	3,200,000	2,600,000	600,000
委託費収入	2,646,692	0	2,646,692
受取補助金等	20,000	5,060	14,940
補助金収入	20,000	5,060	14,940
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	3,230,189	5,036,620	△ 1,806,431
寄付金収入	3,230,189	5,036,620	△ 1,806,431
雑収益	177	163	14
その他利息収入	177	163	14
経常収益計	11,507,233	10,008,368	1,498,865
(2) 経常費用			
事業費	8,876,467	8,307,037	569,430
人件費	5,611,132	6,344,404	△ 733,272
HLA検査助成費	216,000	207,000	9,000
旅費	194,030	5,200	188,830
通信費	32,900	28,784	4,116
消耗品費	139,810	268,665	△ 128,855
諸費	32,560	36,597	△ 4,037
広告費	281,154	377,654	△ 96,500
交通費	124,650	103,950	20,700
謝礼金	715,330	278,523	436,807
研修費	851,053	17,600	833,453
薬品費	173,030	117,000	56,030
印刷費	345,520	295,000	50,520
減価償却費	159,298	226,660	△ 67,362
管理費	2,393,762	1,577,563	816,199
人件費	991,510	828,903	162,607
通信費	241,653	61,303	180,350
消耗品費	412,582	0	412,582
諸費	170,427	145,897	24,530
交通費	1,990	2,160	△ 170
負担費	64,100	64,100	0
会議費	53,000	0	53,000
管理費	458,500	475,200	△ 16,700
経常費用計	11,270,229	9,884,600	1,385,629
評価損益調整前経常増減額	237,004	123,768	113,236
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	237,004	123,768	113,236
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	1	△ 1
固定資産除却損	0	1	△ 1
固定資産減損損失	0	0	0
災害損失	0	0	0
経常外費用計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	△ 1	1
当期一般正味財産増減額	237,004	123,767	113,237
一般正味財産増減額	237,004	123,767	113,237
一般正味財産期首残高	6,871,035	6,747,268	123,767
一般正味財産期末残高	7,108,039	6,871,035	237,004
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
基本財産評価益	28,000	28,000	0
基本財産評価損	28,000	28,000	0
特定資産評価益	0	0	0
基本財産評価損	7,000	7,000	0
基本財産評価損	7,000	7,000	0
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	21,000	21,000	0
指定正味財産期首残高	288,303,000	288,282,000	21,000
指定正味財産期末残高	288,324,000	288,303,000	21,000
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	295,432,039	295,174,035	258,004

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	収益事業	公益事業		合計
		移植推進事業	法人会計	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益	0	0	1,508,175	1,508,175
基本財産運用利益	0	0	1,508,175	1,508,175
基本財産利息収入	0	0	0	0
特定資産運用利益	0	0	0	0
受取入金	0	0	0	0
受取入会費	0	902,000	0	902,000
賛助会費	0	902,000	0	902,000
事業収益	0	5,846,692	0	5,846,692
角膜幹細胞手術料	0	3,200,000	0	3,200,000
委託費収入	0	2,646,692	0	2,646,692
受取補助金等	0	20,000	0	20,000
補助金収入	0	20,000	0	20,000
受取負担金	0	0	0	0
受取寄付金	0	2,196,000	1,034,189	3,230,189
寄付金収入	0	2,196,000	1,034,189	3,230,189
雑収益	0	177	0	177
その他利息収入	0	177	0	177
経常収益計	0	8,964,869	2,542,364	11,507,233
(2) 経常費用	0	8,876,467	0	8,876,467
事業費	0	5,611,132	0	5,611,132
人件費	0	216,000	0	216,000
HLA検査助成費	0	194,030	0	194,030
旅費	0	32,900	0	32,900
通信費	0	139,810	0	139,810
消耗品費	0	32,560	0	32,560
諸費	0	281,154	0	281,154
広告費	0	124,650	0	124,650
交通費	0	715,330	0	715,330
謝礼金	0	851,053	0	851,053
研修費	0	173,030	0	173,030
薬品費	0	345,520	0	345,520
印刷費	0	159,298	0	159,298
減価償却費	0	0	0	0
管理費	0	0	2,393,762	2,393,762
人件費	0	0	991,510	991,510

(単位：円)

科	目	収益事業	公益事業		法人会計		合計
			移植推進事業	移	法人会計	法人会計	
通信費		0	0	241,653			241,653
消耗品費		0	0	412,582			412,582
諸費		0	0	170,427			170,427
交通費		0	0	1,990			1,990
負担費		0	0	64,100			64,100
会議費		0	0	53,000			53,000
管理費		0	0	458,500			458,500
費用計		0	8,876,467	2,393,762			11,270,229
評価損益調整前増減額		0	88,402	148,602			237,004
基本財産評価損益等		0	0	0			0
特定資産評価損益等		0	0	0			0
投資有価証券評価損益等		0	0	0			0
評価損益等計		0	0	0			0
当期経常増減額		0	88,402	148,602			237,004
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益		0	0	0			0
固定資産売却益		0	0	0			0
固定資産受贈益		0	0	0			0
経常外収益計		0	0	0			0
(2) 経常外費用		0	0	0			0
固定資産売却損		0	0	0			0
固定資産減損損失		0	0	0			0
災害損失		0	0	0			0
経常外費用計		0	0	0			0
当期経常外増減額		0	0	0			0
当期一般正味財産増減額		0	88,402	148,602			237,004
一般正味財産増減額		0	88,402	148,602			237,004
一般正味財産期首残高		0	3,655,260	3,215,775			6,871,035
一般正味財産期末残高		0	3,743,662	3,364,377			7,108,039
II 指定正味財産増減の部							
受取補助金等		0	0	0			0
受取負担金		0	0	0			0
受取寄付金		0	0	0			0
固定資産受贈益		0	0	0			0
基本財産評価損益		0	28,000	0			28,000
基本財産評価損益		0	28,000	0			28,000
特定資産評価損益		0	0	0			0
基本財産評価損		0	7,000	0			7,000
基本財産評価損		0	7,000	0			7,000

(単位：円)

科	目	収益事業	公益事業		合計
			移植推進事業	法人会計	
	特定資産評価損	0	0	0	0
	一般正味財産への振替額	0	0	0	0
	当期指定正味財産増減額	0	21,000	0	21,000
	指定正味財産期首残高	0	288,303,000	0	288,303,000
	指定正味財産期末残高	0	288,324,000	0	288,324,000
III	正味財産期末残高				
	正味財産期末残高	0	292,067,662	3,364,377	295,432,039

財 産 目 録

令和 4 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	ゆうちょ銀行	公益目的事業の財源として使用 公益目的事業の財源として使用	22,330		
	当座預金			1,942,796		
	普通預金		肥後銀行県庁支店 熊本銀行日赤通支店 ゆうちょ銀行県庁支店	公益目的事業の財源として使用	4,720,461	
	未収入金			熊本県・委託料	公益目的事業の財源として使用	4,354,481
流動資産合計				2,646,692		
				13,965,890		
(固定資産)	基本財産	熊本銀行日赤通支店	公益目的事業の財源として使用	10,000,000		
				有価証券	169,993,000	
	特定資産	普通預金	熊本銀行日赤通支店 みずほ証券熊本支店 ゆうちょ銀行県庁支店	公益目的事業の財源として使用	100,000,000	
					器具備品	8,331,000
	その他固定資産				156,471	
固定資産合計				288,480,471		
資産合計				302,446,361		
(流動負債)	未払費用	人件費 消耗品費等	令和3年度支払(日赤へ) 机・椅子、携帯電話等	6,602,642		
				411,680		
流動負債合計				7,014,322		
(固定負債)						
固定負債合計						
負債合計				7,014,322		
正味財産				295,432,039		

公益目的保有財産の明細

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	公益認定後取得 不可欠特定財産	その他の 公益目的保有財産	使用事業
基本財産			有価証券熊本銀行日赤通支店 69,972,000円	移植医療推進事業
基本財産			有価証券熊本銀行日赤通支店 100,021,000円	移植医療推進事業
基本財産			定期預金熊本銀行日赤通支店 10,000,000円	移植医療推進事業
基本財産			有価証券みずほ証券熊本支店 100,000,000円	移植医療推進事業
基本財産			普通預金ゆうちょ銀行県庁支 8,331,000円	移植医療推進財団
器具備品			薬品保冷庫他 熊本赤十字病 156,471円	
合計			288,480,471円	

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	有価証券熊本銀行	69,944,000	28,000		69,972,000
	有価証券熊本銀行	100,028,000		7,000	100,021,000
	大口定期熊本銀行	10,000,000			10,000,000
	有価証券みずほ証券	100,000,000			100,000,000
	普通預金ゆうちょ銀行	8,331,000			8,331,000
	基本財産計	288,303,000	28,000	7,000	288,324,000

令和4年度事業計画及び令和4年度収支予算

【令和4年度事業計画】

(事業目的)

移植医療の普及推進と目及び臓器に関する保健衛生の知識の啓発を図り、県民の健康増進及び福祉の向上に寄与することを目的に、眼球提供希望者の募集、眼球移植希望者の調査及び相談、角膜及び強膜のあっせん、臓器移植希望者の組織適合性検査費用の助成、移植医療に関する調査及び研究並びに支援に関する事業を行うものとする。

1. 普及啓発事業

移植医療に対する県民の理解と協力が得られるよう、啓発のためのポスター・パンフレット等を作成し、市町村、保健所、医療機関等に配布するとともに、報道機関等を通じての移植医療に関する知識の普及啓発にあたる。

また、県内各団体、関係機関における啓発活動を進めるため、移植医療関係の市民公開講座や研修会等に協力する。

(1) 各種行事での普及啓発

1) 市民公開講座、研修会、例会等

市民公開講座や研修会、熊本県下の協力団体の例会を活用し、移植医療に関する知識の普及啓発を行う。

2) グリーンライトアップ

グリーンリボンデーの10月16日(日)を中心に、県内の医療機関やランドマーク等をグリーンにライトアップするグリーンライトアッププロジェクトの参加を呼びかける。

3) 熊本県腎移植者の会黄色い羽根募金運動街頭キャンペーン

下通アーケードにて臓器提供・臓器移植等に関するパンフレットの配布と黄色い羽根募金運動を行う。(熊本県腎移植者の会主催、令和4年11月予定)

(2) 感謝状の贈呈

1) 献眼者の葬儀に参列し、儀式の中で御遺族に対し代表理事感謝状を贈呈する。

(当財団とライオンズクラブからの感謝状贈呈)

2) 献眼者を顕彰するため、厚生労働大臣感謝状を申請し、贈呈する。

3) 臓器の提供施設へ、当財団から感謝状を贈呈する。

(3) 財団の会報「ざいだん NEWS」や普及啓発資材等の作成及び活用

1) ざいだん NEWS を年1回発行し、財団の活動について広く県民や賛助会員等へ周知する。

2) 献眼や臓器提供に関するパンフレット等を作成し、医療機関に配布し、臓器移植院内コーディネーター等を通して周知する。

(4) 講義・講話の実施

1) 医療関係機関・学生・生徒に対する講義

2) ライオンズクラブ等各団体の会合等での講話

3) その他(出前講座等)

(5) 熊本県腎移植者の会、他関係団体との連携

公益社団法人日本臓器移植ネットワークや公益財団法人日本アイバンク協会、ライオンズクラブ国際協会337-E地区、熊本県腎移植者の会等と連携し、県民の健康増進や移植医療に対する意識向上を推進する。

(6) マスメディアによる普及啓発

ラジオ、テレビ、新聞等のマスコミに対し情報提供を行う。

(7) 移植医療ボランティアの育成

熊本赤十字病院と連携し、移植ボランティアを募り研修を行い、普及啓発、賛助会員の募集その他事業に協力してもらうよう育成を行う。

(8) 熊本県移植医療推進財団のホームページのさらなる活用及び会報等による情報発信

ホームページやざいだん NEWS を活用し、積極的に情報発信を行う。また他の団体との積極的な相互リンクにより、情報の入手をより簡便にする。

2. 提供者募集管理業務

移植医療の現状や県民の健康等に関する知識向上について普及啓発を図り、意思表示カード等への記入を呼びかけることにより、臓器提供者の募集を行う。

(1) 臓器提供意思表示ツールの周知及び記入率の向上

- 1) 臓器提供意思表示についてのパンフレット等は、国及び日本臓器移植ネットワークから各自治体、郵便局、コンビニエンスストア等へ配布されているが、当財団としても、県と協力して、引き続き免許センター、医療機関、歯科医院、薬局、銀行等に普及啓発資材等を配備していく。
- 2) 県内各市町村成人式で、新成人を対象に普及啓発資材等を配布する。
- 3) 健康保険証、運転免許証の裏面、マイナンバーカードの表面の意思表示欄への記入について周知を図ることで記入率の向上を目指す。

(2) 臓器提供意思登録

日本臓器移植ネットワーク、日本アイバンク協会のオンライン登録による登録者募集を行う。

3. 移植希望者の調査事業

移植医療機関と連携して移植を受けたい人の希望がかなうようにサポートする。

(1) 移植希望者等の相談業務(一般的な移植についての相談、登録手続き等について)

熊本県臓器移植コーディネーターと連携し、移植希望者等の相談対応を行う。

(2) 角膜移植待機患者数調査(公益財団法人日本アイバンク協会との連携)

毎月、移植待機患者数を取りまとめ、日本アイバンク協会、九州各県アイバンク連絡協議会へ報告する。

4. 摘出あっせん業務

先天的又は後天的な角膜、強膜の疾患により、視力低下又は失明した方を角膜、強膜の移植により視力を回復させることを目的に、安全性の確保された角膜、強膜のあっせんを公平、公正に行う。

(1) 眼球(角膜)の摘出及びあっせん

角膜片については、電動トレパン、スカルペル等により眼球を摘出せず角膜を直接採取し、あっせんを行う。

(2) 提供角膜の安全性評価

- 1) 角膜摘出時にスリットランプにより角膜の状態をチェックする。
- 2) 角膜移植に伴う感染症の発症を防ぐため、ドナーから血液を採取し、免疫血清学検査(HBsAg・HCV・HIV・HTLV-1・梅毒)を行う。新型コロナウイルス感染症のPCR検査については主治医の判断による(疑わしい場合は摘出しない)
- 3) 角膜の評価のため、スペキュラーマイクロスコープによる角膜内皮細胞数を検査する。

(3) 摘出に携わる関係者の傷害保険の継続

摘出に従事する際の事故等で傷害が発生した場合に備えて、傷害保険に加入する。

5. 組織適合検査の助成事業

腎移植希望者の新規登録のための組織適合検査(HLA検査)費用が、26,400円と高額なことから、検査費用の一部補助(1人9,000円)を継続する。

6. 移植調査研究事業

臓器(角膜)提供希望者(ドナー)は、ドナー適応基準に基づき臓器(角膜)ごとに一定の感染症がないこと等が細かく定められており複雑であるため、各関連分野の学会、研修会、会議等への参加をとおして、最新の情報を入手する。なお、本年度はリモートでの参加も想定される。

(1) 都道府県臓器移植推進組織協議会へ九州ブロック幹事として参加

(2) 全国アイバンク連絡協議会・アイバンクワークショップセミナーへの参加

(3) 角膜カンファレンス等への参加

(4) その他移植関係学会等への参加

7. その他事業

財団の効果的な運営を図るために関連の機関と協議して、移植医療を支える人材の育成並びに連携を図る。

また、上記調査事業等により得られた最新の情報をもとに財団の活動の活性化等に努める。

(1) 財団の各種会議において審議と意見の交換

- 1) 移植推進委員会 令和4年5月予定
- 2) 定時理事会 令和4年5月予定
- 3) 評議員会 令和4年6月予定
- 4) 臨時理事会 令和5年3月予定

(2) 関連機関との協議会等

- 1) 熊本県移植医療推進ネットワーク協議会
- 2) 熊本市 CKD 対策会議
- 3) その他(ライオンズクラブ三献協力会等)

(3) 当財団の事業を広く紹介(HP、会報等)し、各団体や個人等へ支援を求める活動

- 1) 賛助会員及び支援者を募り、会員加入や寄付等を依頼する。
- 2) 移植医療に係る医療機関、団体等と協力して、県下の移植医療についての講演会等を企画する。

(4) 臓器移植連絡調整者設置事業【委託事業】

県から委託を受け、熊本県臓器移植コーディネーターの設置及び活動を行う。

(5) 臓器移植院内コーディネーター連携構築事業【委託事業】

県からの委託を受け、県内 38 医療機関に設置している臓器移植院内コーディネーターの連携構築に必要な業務を行う。

(6) 都道府県コーディネーター支援事業【助成事業】

公益社団法人日本臓器移植ネットワークからの助成を受け、熊本県臓器移植コーディネーターが中心となり、医療機関の院内体制整備や臓器移植関係者が連携して行う移植医療に関する諸問題の検討、教育・研修や啓発等に必要な事業を行う。

収 支 予 算 書

令和 4 年 4 月 1 日 から 令和 5 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,508,000	1,508,000	0	
基本財産利息収入	1,508,000	1,508,000	0	
特定資産運用益	0	0	0	
受取入会金	0	0	0	
受取会費	800,000	900,000	△ 100,000	
賛助会費	800,000	900,000	△ 100,000	
事業収益	17,700,000	6,100,000	11,600,000	
角膜幹旋手数料	4,000,000	3,600,000	400,000	
委託費収入	13,700,000	2,500,000	11,200,000	
受取補助金等	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取寄付金	2,300,000	3,000,000	△ 700,000	
寄付金収入	2,300,000	3,000,000	△ 700,000	
雑収益	100	100	0	
その他利息収入	100	100	0	
経常収益計	22,308,100	11,508,100	10,800,000	
(2) 経常費用				
事業費	15,905,167	8,954,298	6,950,869	
人件費	7,169,000	5,660,000	1,509,000	
HLA検査助成費	180,000	225,000	△ 45,000	
旅費	1,664,000	200,000	1,464,000	
通信費	31,000	35,000	△ 4,000	
消耗品費	369,000	140,000	229,000	
普及費	1,600,000	0	1,600,000	
諸費	40,700	40,000	700	
広告費	48,000	280,000	△ 232,000	
交通費	104,000	120,000	△ 16,000	
謝礼金	419,000	720,000	△ 301,000	
研修費	2,752,000	850,000	1,902,000	
薬品費	117,000	175,000	△ 58,000	
印刷費	1,015,000	350,000	665,000	
管理費	240,000	0	240,000	
減価償却費	156,467	159,298	△ 2,831	
管理費	6,391,000	2,440,000	3,951,000	
人件費	4,303,000	995,000	3,308,000	
通信費	381,000	240,000	141,000	
消耗品費	300,000	430,000	△ 130,000	
諸費	866,000	200,000	666,000	
交通費	2,000	5,000	△ 3,000	
負担費	64,000	65,000	△ 1,000	
会議費	0	55,000	△ 55,000	
管理費	475,000	450,000	25,000	
経常費用計	22,296,167	11,394,298	10,901,869	
評価損益調整前経常増減額	11,933	113,802	△ 101,869	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	11,933	113,802	△ 101,869	
2. 経常外増減の部				

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	
固定資産受贈益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0	0	0	
固定資産減損損失	0	0	0	
災害損失	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	11,933	113,802	△ 101,869	
一般正味財産増減額	11,933	113,802	△ 101,869	
一般正味財産期首残高	7,181,172	7,067,370	113,802	
一般正味財産期末残高	7,193,105	7,181,172	11,933	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
固定資産受贈益	0	0	0	
基本財産評価益	0	0	0	
特定資産評価益	0	0	0	
基本財産評価損	0	0	0	
特定資産評価損	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高				
正味財産期末残高	7,193,105	7,181,172	11,933	

収支予算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

【当期予算】

(単位：円)

科 目	公益目的事業		法人会計	合計
	移植推進事業			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益	0	1,508,000	1,508,000	1,508,000
基本財産運用益	0	1,508,000	1,508,000	1,508,000
基本財産利息収入	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0
受取入会金	0	800,000	800,000	800,000
受取入会費	0	800,000	800,000	800,000
費助会費	0	0	0	0
事業収益	16,000,000	0	0	16,000,000
角膜幹細胞手数料	4,000,000	0	0	4,000,000
委託料収入	12,000,000	0	0	12,000,000
受取補助金等	1,700,000	0	0	1,700,000
補助金収入	1,700,000	0	0	1,700,000
補助金収入	0	0	0	0
受取負担金	0	2,300,000	2,300,000	2,300,000
受取寄付金	0	2,300,000	2,300,000	2,300,000
寄付金収入	0	100	100	100
雑収益	0	100	100	100
その他利息収入				
経常収益計	17,700,000	4,608,100	4,608,100	22,308,100
(2) 経常費用	15,905,167	0	0	15,905,167
事業費	7,169,000	0	0	7,169,000
人件費	180,000	0	0	180,000
HLA検査助成費	1,664,000	0	0	1,664,000
旅費	31,000	0	0	31,000
通信費	369,000	0	0	369,000
消耗品費	1,600,000	0	0	1,600,000
普及費	40,700	0	0	40,700
諸費	48,000	0	0	48,000
広告費	104,000	0	0	104,000
交通費	419,000	0	0	419,000
謝礼金	2,752,000	0	0	2,752,000
研修費	117,000	0	0	117,000
薬品費	1,015,000	0	0	1,015,000
印刷費	240,000	0	0	240,000
管理費	156,467	0	0	156,467
減価償却費				

(単位：円)

【当期予算】

科	目	公益目的事業		法人会計	合計
		移植推進事業			
管理費		0		6,391,000	6,391,000
人件費		0		4,303,000	4,303,000
通信費		0		381,000	381,000
消耗品費		0		300,000	300,000
諸費		0		866,000	866,000
交通費		0		2,000	2,000
負担費		0		64,000	64,000
管理費		0		475,000	475,000
経常費用計		15,905,167		6,391,000	22,296,167
評価損益調整前経常増減額		1,794,833	△	1,782,900	11,933
基本財産評価損益等		0		0	0
特定資産評価損益等		0		0	0
投資有価証券評価損益等		0		0	0
評価損益等計		0		0	0
当期経常増減額		1,794,833	△	1,782,900	11,933
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
固定資産売却益		0		0	0
固定資産受贈益		0		0	0
経常外収益計		0		0	0
(2) 経常外費用					
固定資産売却損		0		0	0
固定資産減損損失		0		0	0
災害損失		0		0	0
経常外費用計		0		0	0
当期経常外増減額		0		0	0
当期一般正味財産増減額		1,794,833	△	1,782,900	11,933
一般正味財産増減額		1,794,833	△	1,782,900	11,933
一般正味財産期首残高		7,181,172		0	7,181,172
一般正味財産期末残高		8,976,005	△	1,782,900	7,193,105
II 指定正味財産増減の部					
受取補助金等		0		0	0
受取負担金		0		0	0
受取寄付金		0		0	0
固定資産受贈益		0		0	0
基本財産評価損益		0		0	0
特定資産評価損		0		0	0
基本財産評価損		0		0	0
特定資産評価損		0		0	0

(単位：円)

【当期予算】

科	目	公益目的事業		法人会計	合計
		移植推進事業			
	一般正味財産への振替額	0		0	0
	当期指定正味財産増減額	0		0	0
	指定正味財産期首残高	0		0	0
	指定正味財産期末残高	0		0	0
III	正味財産期末残高				
	正味財産期末残高	8,976,005	△	1,782,900	7,193,105

資産別固定資産減価償却内訳表

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月 31日

物件名称	数量	償却方法	取得使用 期間	取得価額	期首帳簿価額	当期増減額	普通償却額	特別(割増)償却額	当期減損損失額 当期償却額	当期償却限度額	期末帳簿価額	(減損損失累計額) 償却累計額	備考
【 器具及び備品 】													
2-00 ポータブルスリットランプ	1	1 旧定率	H18. 3 H18. 3	499,800	1						1	499,799	償却済
3-00 フリーザ付薬用保冷庫	1	1 旧定率	H18. 12 H18. 12	283,500	2,839		2,834		2,834	2,834	5	283,495	償却基礎 14,174
4-00 抽出セトト一式	1	1 旧定率	H20. 7 H20. 7	2,400,000	1						1	2,399,999	償却済
5-00 スペキュラーマイクログループ	1	1 旧定率	H29. 1 H29. 1	3,024,000	312,928		156,464		156,464	156,464	156,464	2,867,536	改定価額 312,928
※資産計※ 器具及び備品				6,207,300	315,769		159,298		159,298	159,298	156,471	6,050,829	
※合計※				6,207,300	315,769		159,298		159,298	159,298	156,471	6,050,829	